

お知らせ

慢性肝疾患関連遺伝子研究へ参加いただいた患者さんへ

平成14年2月1日から平成26年6月30日までに広島大学病院にて「慢性肝疾患関連遺伝子研究」へ参加いただいた患者さんが対象です。

時代 歩に伴い、本研究では、次世代シーケンサーを用いて全ゲノム解析を行うことになりました。全ゲノム解析とは、提供していただいた試料を用いてゲノム全体の塩基配列を調べることです。超高速に塩基配列情報を得ることができる次世代シーケンサーと呼ばれる装置を用いることで、一度にほぼすべてのゲノムの塩基配列を調べるが可能になりました。これにより、ゲノム全体から病気の原因となる遺伝子を探っていきます。

ただし、全ゲノムを調べるため、この研究で目的とする慢性肝疾患と関連する遺伝子変異が明らかになるだけでなく、今はまだ罹っていない別の疾患を引き起こす遺伝子の異変が偶然に判ってしまうこともあります。したがって、個人情報の漏洩がおきた場合、就職や結婚、妊娠、保険における不利益など倫理的、社会的問題の生じる可能性があります。さらに、研究の結果、特定の遺伝子変異が病気の原因と判明した場合、その遺伝子変異を有する患者さんに対しては、将来的に病気の発症を予防するための対策が検討される可能性があります。

広島大学

遺伝子研究センター

〒733-8593